



岐阜大学
流域水環境リーダー育成プログラム

Gifu University Rearing Program for Basin Water Environmental Leaders



岐阜大学
流域水環境リーダー育成
プログラム

(<http://www.green.gifu-u.ac.jp/BWEL/>)



プログラム概要と目的

PROGRAM OVERVIEW

岐阜大学流域水環境リーダー育成プログラムは、アジア・アフリカの途上国が直面する様々な環境問題のなか、とりわけ水質・水資源などの流域水環境分野における環境問題の解決に向けたリーダーシップを発揮する人材（環境リーダー）を育成することを目的としています。

本プログラムでは、幅広い視野と行動力・実践力を有し、環境政策の立案と施行に強いリーダーシップを発揮しうる人材を育成するために、岐阜大学流域圏科学研究センター、自然科学技術研究科^{*}、工学研究科、連合農学研究科等の部局が有機的に連携し、既存のカリキュラムに新しいカリキュラムを組み合わせた特色のある教育プログラム、学生支援体制、国内外の実務経験者を迎えた教育研究指導体制を構築し、効果的な事業運営を展開しています。
※2017年4月に大学院の「工学研究科（博士前期課程）」と「応用生物科学研究科（修士課程）」ならびに「医学系研究科再生医科学専攻（博士前期課程）」を再編・整備し、自然科学技術研究科（修士課程）を設立しました。

プログラムの実施開始初年度（平成21年度）からこれまでに、195名の環境リーダー（修士：159名（国内71名、国外88名）、博士36名（国内2名、国外34名））を輩出し、現在は日本、バングラデシュ、ベトナム、モンゴル、インドネシア、中国から計37名の学生が本プログラムに在籍しています。

カリキュラムの内容と特徴

MAJOR CONTENTS AND CHARACTERISTICS OF THE EDUCATION PROGRAM

流域水環境リーダー育成対象者の流域水環境に関する基礎知識の総合的な基盤形成と基礎応用力の増強を図るため、岐阜大学大学院自然科学技術研究科環境社会基盤工学専攻、エネルギー工学専攻、生物生産環境科学専攻の各専攻の専門科目から、流域水環境に関わる科目を抽出するとともに、それに加えて3専攻に跨って履修できる相互補完科目を設けています。また、途上国の水環境問題を的確に見出し、問題発生を背景を理解し戦略的解決策を立案・策定し手法を設計する能力を身に付けるために、環境に係る人文・社会科学分野の授業科目を取り入れるとともに、新しい流域水環境計測手法や発展途上の社会基



盤整備状況に応じた水環境制御手法に関する知識と技術を修得する科目を組み合わせています。

学位研究については、「流域水環境動態計測評価領域」、「水質計測・評価・水処理領域」、「流域環境生態評価・管理領域」、「流域環境政策・管理領域」の4つの研究領域を設け、また、それぞれの領域には途上国の環境問題に対応した具体的な研究課題も多く設定しています。

こうしたカリキュラムを履修することにより、留学生は国外リーダーとして、日本の優れた環境技術を発展途上国で応用可能な形で習得し、修了後は、諸国で流域水環境の問題の解決と施策立案に活躍することが期待できます。また、日本人学生は国内リーダーとして、途上国の課題に対応した流域水環境の技術開発と政策推進に当たることが期待できます。

1. 授業科目

SUBJECTS

- (1) 各専攻の既存授業科目: 3専攻の既存授業科目から、流域水環境に関連する授業科目を抽出し、基礎専門知識基盤の形成を図ります。
- (2) **BWEL** オリジナル科目: 特色のある特論3科目（リモートセンシング水環境計測学特論, アジア水環境動態評価特論, アジア水処理技術特論, 各1単位）と演習1科目（環境リーダー育成特別演習, 1単位）を設けています。アジア諸国で生起している広範囲の水環境問題や諸国の状況に対応した水処理手法などの途上国が現在直面する水環境問題の解決と将来起こりうる新しい環境問題の発生防止に寄与する最新の知識と技術を修得することを狙います。また、環境に係わる人文・社会関係の科目として、地域環境文化特論, 地球環境文化特論, 地域環境社会特論, 地球環境社会特論の4科目（各1単位）を開講し、環境問題の発生背景や解決策の立案に寄与する幅広い知識の修得を図ります。学外研修（グループインターンシップ）: 産業界と協力した実践的な科目であり、流域水環境の問題とニーズを探索し、対処する技能の養成を図ります。
- (3) 補完科目: 相互補完専門科目として7科目（工学系4科目4単位, 農学系3科目3単位）を設けており、流域水環境に関する基礎専門知識の総合的な基盤形成の増強を図ります。

2. 修士学位研究

RESEARCH TOPICS FOR MASTER'S DEGREE THESIS

修士学位研究は、4つの研究領域（流域水環境動態計測評価領域、水質計測・評価・水処理領域、流域環境生態評価・管理領域、流域環境政策・管理領域）のいずれの領域で実施することができます。指導教員を中心とし、企業などの実務経験者を指導協力者として迎えた共同指導体制のもとに研究を行い、発展途上国が直面する流域水環境問題の解決と将来起こりうる新たな問題の発生防止に必要な推論力、計画力、応用力、問題解決力を養成します。

3. 経済支援

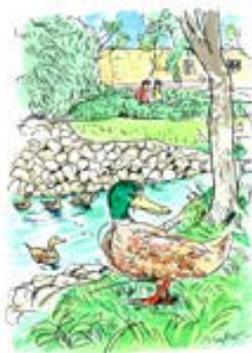
FINANCIAL SUPPORT

家庭の経済的状況が困難な優秀な留学生に対しては、修士の学位を取得するまでの標準学習年数内に授業料不徴収による特別な経済支援措置があります。

4. 環境リーダー育成プログラム修了証書

COMPLETION CERTIFICATE FOR PROGRAM STUDENTS

本拠点育成プログラム修了者に対し、所属専攻固有の修了証書のほかに、本プログラム修了証書「**Certificate of International Environmental Leadership in recognition of the fulfillment of the requirements for Gifu University Rearing Program for Basin Water Environmental Leaders**」が授与されます。



A satellite-style map of Japan, showing the main islands and surrounding waters. The map is oriented vertically, with the top of the page showing the northern part of the country and the bottom showing the southern part. The colors are naturalistic, with greens for land and blues for water.

岐阜大学

流域水環境リーダー育成対象者の選抜

1. 求める学生像

本プログラムでは、専門分野を学ぶための十分な基礎学力と共に以下の資質を持つ学生を求めます。

- ・アジア・アフリカの発展途上国の環境問題、特に流域水環境の問題に対処する高度な知識と技能の修得に高い意欲をもち、国際的に活躍したい人
- ・既存の環境分野の専門知識はもちろん、環境に関係する人文・社会科学関連の知識、新しい専門知識の吸収に意欲のある人
- ・日本語又は英語による高いコミュニケーション能力を有する人、又は環境リーダー育成プログラムを通して、その能力を身に付けたい人
- ・しっかりした倫理観を備え、関連分野でリーダーシップが発揮できる人、発揮したい人
- ・国際的交流に意欲あり、主導的役割を発揮したい人

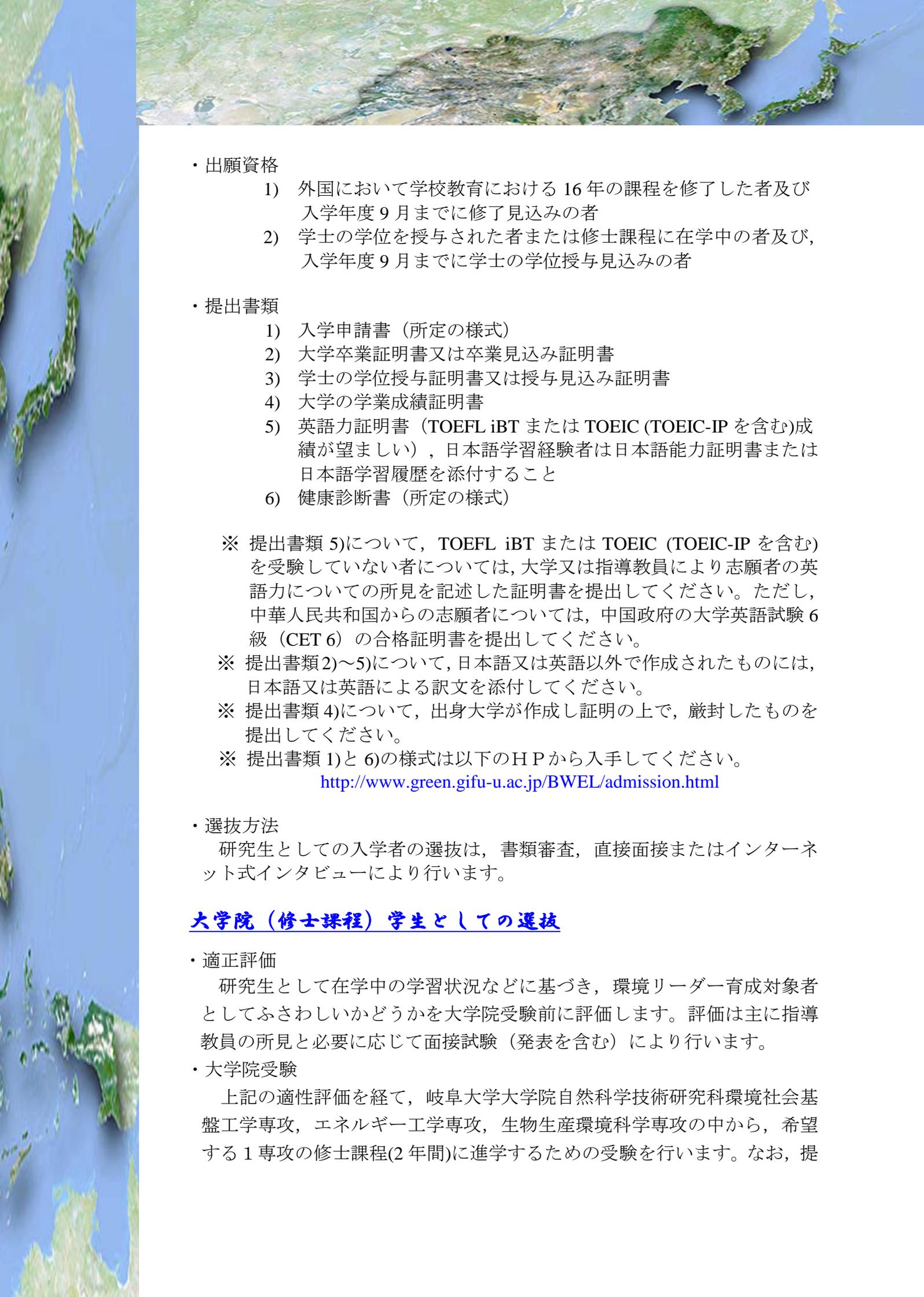
2. 選抜方法と提出書類

(1) 外国人留学生の場合

外国人留学生について、研究生として先ず来日し、学習と基礎研究を行いながら、大学院に進学するための受験準備を行い、受験の上で大学院修士課程（2年間）に進学する流れです。そのため、環境リーダー育成対象者の受入は、研究生としての受入からになります。

- ※ 研究生：ある特定の専門事項について学習研究したい者に対し、学部・研究科・研究施設等の許可を得て、研究生として入学することができます。研究生としての期間を終了しても学位は授与されません。日本の大学では、大学院に進学するための受験準備期間としてこの制度を利用するケースが多いです。研究生としての入学時期は申請をした年の10月1日です。

研究生としての選抜



• 出願資格

- 1) 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者及び入学年度 9 月までに修了見込みの者
- 2) 学士の学位を授与された者または修士課程に在学中の者及び、入学年度 9 月までに学士の学位授与見込みの者

• 提出書類

- 1) 入学申請書（所定の様式）
- 2) 大学卒業証明書又は卒業見込み証明書
- 3) 学士の学位授与証明書又は授与見込み証明書
- 4) 大学の学業成績証明書
- 5) 英語力証明書（TOEFL iBT または TOEIC (TOEIC-IP を含む)成績が望ましい），日本語学習経験者は日本語能力証明書または日本語学習履歴を添付すること
- 6) 健康診断書（所定の様式）

※ 提出書類 5)について、TOEFL iBT または TOEIC (TOEIC-IP を含む)を受験していない者については、大学又は指導教員により志願者の英語力についての所見を記述した証明書を提出してください。ただし、中華人民共和国からの志願者については、中国政府の大学英語試験 6 級（CET 6）の合格証明書を提出してください。

※ 提出書類 2)～5)について、日本語又は英語以外で作成されたものには、日本語又は英語による訳文を添付してください。

※ 提出書類 4)について、出身大学が作成し証明の上で、厳封したものを提出してください。

※ 提出書類 1)と 6)の様式は以下のHPから入手してください。

<http://www.green.gifu-u.ac.jp/BWEL/admission.html>

• 選抜方法

研究生としての入学者の選抜は、書類審査、直接面接またはインターネット式インタビューにより行います。

大学院（修士課程）学生としての選抜

• 適正評価

研究生として在学中の学習状況などに基づき、環境リーダー育成対象者としてふさわしいかどうかを大学院受験前に評価します。評価は主に指導教員の所見と必要に応じて面接試験（発表を含む）により行います。

• 大学院受験

上記の適性評価を経て、岐阜大学大学院自然科学技術研究科環境社会基盤工学専攻、エネルギー工学専攻、生物生産環境科学専攻の中から、希望する 1 専攻の修士課程(2 年間)に進学するための受験を行います。なお、提



出書類と選抜方法については、自然科学技術研究科の募集要項を参照してください。

※外国人留学生の場合は、上述のように、まずは研究生として入学するので、大学院受験のための願書など書類の準備と提出は、研究生在学中に対応するのがほとんどです。

※いずれの専攻においても英語は必須です。ただし、環境社会基盤工学専攻とエネルギー工学専攻の場合、英語の筆記試験は実施しないので、受験生の英語の得点は岐阜大学に入学する前または直後に受けた TOEFL iBT または TOEIC (TOEIC-IP を含む) のスコアから換算して評価します。

(2) 日本人学生の場合

岐阜大学大学院自然科学技術研究科環境社会基盤工学専攻、エネルギー工学専攻、生物生産環境科学専攻の修士課程への入学試験合格者から、環境リーダー育成対象者を選定します。選定は主に面接試験（発表を含む）によって行います。

3. 書類提出先及び問い合わせ先

(1) 書類の提出先及び問い合わせ先は以下の通りです。

〒501-1193 岐阜市柳戸1 番1
岐阜大学流域圏科学研究センター
岐阜大学流域水環境リーダー育成プログラム推進室
TEL: +81 58 2932085
FAX: +81 58 2932062
E-mail: bwel@gifu-u.ac.jp

(2) 事前に、希望する指導教員と連絡を取っている場合には、希望する指導教員に直接に書類を提出しても構いません。

詳しいことについては下記のウェブページを参照してください：

大学：<http://www.gifu-u.ac.jp/>

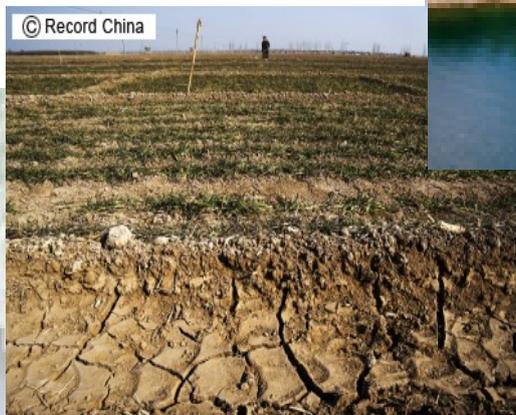
環境リーダー育成プログラム：

<http://www.green.gifu-u.ac.jp/BWEL/>

(3) 出願締め切り：外国人の場合、研究生として入学申請書類の提出期限は **2020年4月15日まで**です(必着)。また、**提出書類は返却しません**ので、留意してください。

日本人学生の場合は別途通知します。





岐阜大学流域圏科学研究センター
岐阜大学流域水環境リーダー育成プログラム推進室
1-1 Yanagido, Gifu 501-1193, Japan
TEL: +81 58 2932085
FAX: +81 58 2932062
E-mail: bwel@green.gifu-u.ac.jp
(<http://www.green.gifu-u.ac.jp/BWEL/>)